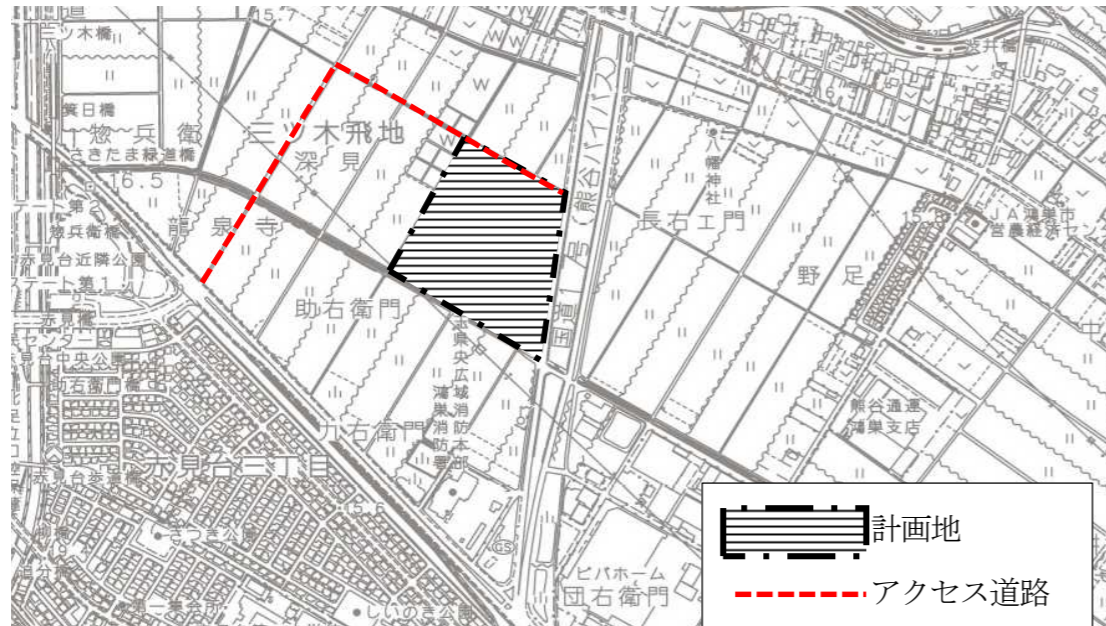


鴻巣市道の駅整備計画（概要版）

1. 計画地

- 本計画の対象区域は、熊谷バイパス沿道西側の約4.0haとする。
- 本道の駅への安全かつ円滑な流出入を実現するため、熊谷バイパスとのアクセス道路を一体的に整備する。



2. 道の駅の整備の方向

○本市の道の駅基本計画及び国による近年の「道の駅」に関する検討状況を踏まえ、本「道の駅」の担う役割は次の「5つの拠点」とし、ここで「居心地の良さを感じられる空間」、「何度でも訪れたい空間」、「鴻巣市らしさを感じられる空間」の実現を目指していくものとする。



新「道の駅」のあり方検討会
 （事務局：国土交通省）での主な論点

- ① 防災
- ② (インバウンド対応を含めた) 情報発信力
- ③ 少子高齢化

3. 施設整備方針

3.1 休憩機能

(1) 駐車場【道路管理者整備分】

- 休憩目的の利用者が無料で利用できる駐車場として、大型車・小型車駐車スペースを整備する。
- 障がい者、妊婦向け屋根付き優先駐車スペースを設置する。

(2) トイレ【道路管理者整備分】

- 休憩目的の利用者が無料で24時間利用できる駐車場併設トイレを整備することとし、駐車台数に応じて便器数等を計画する。

3.2 情報発信機能

(1) 道路情報【道路管理者整備分】

- 24時間利用可能な道路情報提供コーナーを設け、リアルタイムの一般道路や高速道路に関する情報、気象情報、冬期の路面凍結情報など、道路を安全に、安心して利用できるための各種情報を提供する。

(2) 観光・地域情報【市整備分】

- 観光・地域情報発信コーナーを設け、市内の観光・イベントや行政サービス等の情報を提供する。

3.3 地域連携機能

(1) 駐車場【市整備分】

- 地域振興施設への来場者が利用できる駐車場として、小型車駐車スペースを整備する。
- 障がい者、妊婦向け屋根付き優先駐車スペースを設置する。
- 建物付近に幅・奥行の広い駐車スペースを確保し、子ども連れや高齢者に配慮した「思いやり駐車場」とする。

(2) 地域振興施設【市整備分】

1) 販売・飲食等施設

- 鴻巣市産農産物・加工品の販売や加工を行うためのスペースを設ける。
- レストランやパンカフェの営業を想定した飲食スペースを設ける。
- 道路利用者の利便性を向上させるための施設スペースを設ける。

2) コミュニティ施設

- コミュニティ施設として、イベントや体験学習、研修等の様々な用途に利用できるスペースを設ける。

3) キッズスペース・赤ちゃんの駅

- キッズスペース及び埼玉県が進めている「赤ちゃんの駅」を設置する。

4) トイレ

- 地域振興施設分のトイレには、子ども用トイレやベビーカーと一緒に入れる広いトイレブースを確保し、子育て世代に配慮したトイレとする。

(3) アグリゾーン【市整備分】

- 新規就農と来場者が“農”も楽しめる場としてアグリゾーンを設定する。

(4) 広場【市整備分】

- 道路利用者や周辺住民の憩いの場として広場を整備する。

3.4 防災機能

(1) 道路管理者整備分

1) 駐車場

○駐車場は、災害時の応援部隊等の活動拠点、支援物資の集積・分別場所としての利用に供するようとする。

2) 自家発電装置

○道の駅自体の非常用電源確保のため、自家発電装置を設置する。

(2) 市整備分

1) 駐車場

○駐車場は、災害時の応援部隊等の活動拠点、支援物資の集積・分別場所としての利用に供するようとする。

2) 地域振興施設

○地域振興施設内の各施設は、避難生活を支える物資の提供スペース、一時避難・滞在スペース等としての利用に供するようとする。

3) 防災倉庫

○本市の道の駅は市の中心部に近く、幹線道路沿いであることから、市内各地への配送に適しており、防災倉庫を整備する。

4) 防災用トイレ

○停電時や断水時でも使用できる防災用トイレを備蓄する。

5) 自家発電装置

○道の駅自体の非常用電源確保のため、自家発電装置を設置する。

6) 耐震性貯水槽

○大規模災害時の防災拠点として機能するよう、耐震性貯水槽の設置を検討する。

3.5 その他機能

(1) 調整池

○道の駅の整備に伴い、計画地やその周辺地に降った雨水の流出量を抑制するための施設として調整池を設ける。

(2) 緑地

○道の駅の利用者等への「ゆとり」や「うるおい」を提供するものとして、計画地内の緑化を行う。

3.6 各施設規模のまとめ

表1 駐車場台数のまとめ

駐車場台数		休憩施設 (道路管理者整備分)	地域振興施設 (市整備分)	合計
小型	小型車	104	177	281
	身体障がい者	3	4	7
	小計	107	181	288
大型	大型車	45	—	45
	セミトレーラー対応	2	—	2
	小計	47	0	47
合計		154	181	335
二輪車		—	4	4

表2 各施設規模のまとめ

区分	施設		面積(m ²)		
道路管理者 (休憩施設・ 情報発信施設等)	道路	大型車駐車場	45台	2,640	11,790
		セミトレーラー駐車場	2台		
		小型車駐車場	104台	1,300	
		身体障がい者用駐車場	3台	90	
		駐車場車路		7,160	
		歩道		600	
	情報発信/トイレ	トイレ		310	520
		情報発信施設		210	
		緑地			2,240
		調整池			4,750
	計			19,300	

区分	施設		面積(m ²)		
鴻巣市 (地域振興施設等)	駐車場	小型車駐車場	155台	1,940	7,170
		身体障がい者用駐車場	4台	120	
		思いやり駐車場	22台	360	
		二輪車用駐車場	4台	10	
		駐車場車路		2,210	
		歩道		2,530	
	地域振興施設	販売・飲食等施設		1,820	2,220
		コミュニティ施設、キッズスペース・赤ちゃんの駅		270	
		事務所・トイレ		130	
		アグリゾーン			2,560
	広場			1,340	
	緑地			1,410	
	調整池			5,410	
	計			20,110	

道路管理者・鴻巣市の合計 39,410

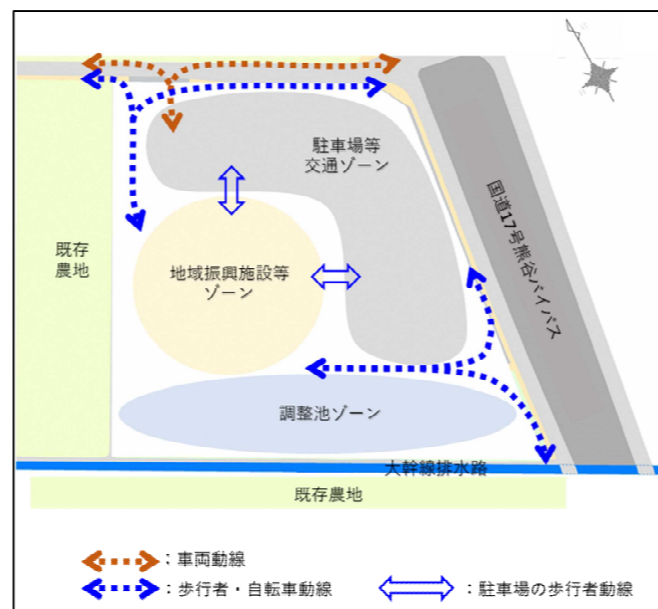
区分	施設	面積(m ²)
鴻巣市	アクセス道路	1,990

※今後の詳細設計や関係機関協議で変更になる可能性がある。

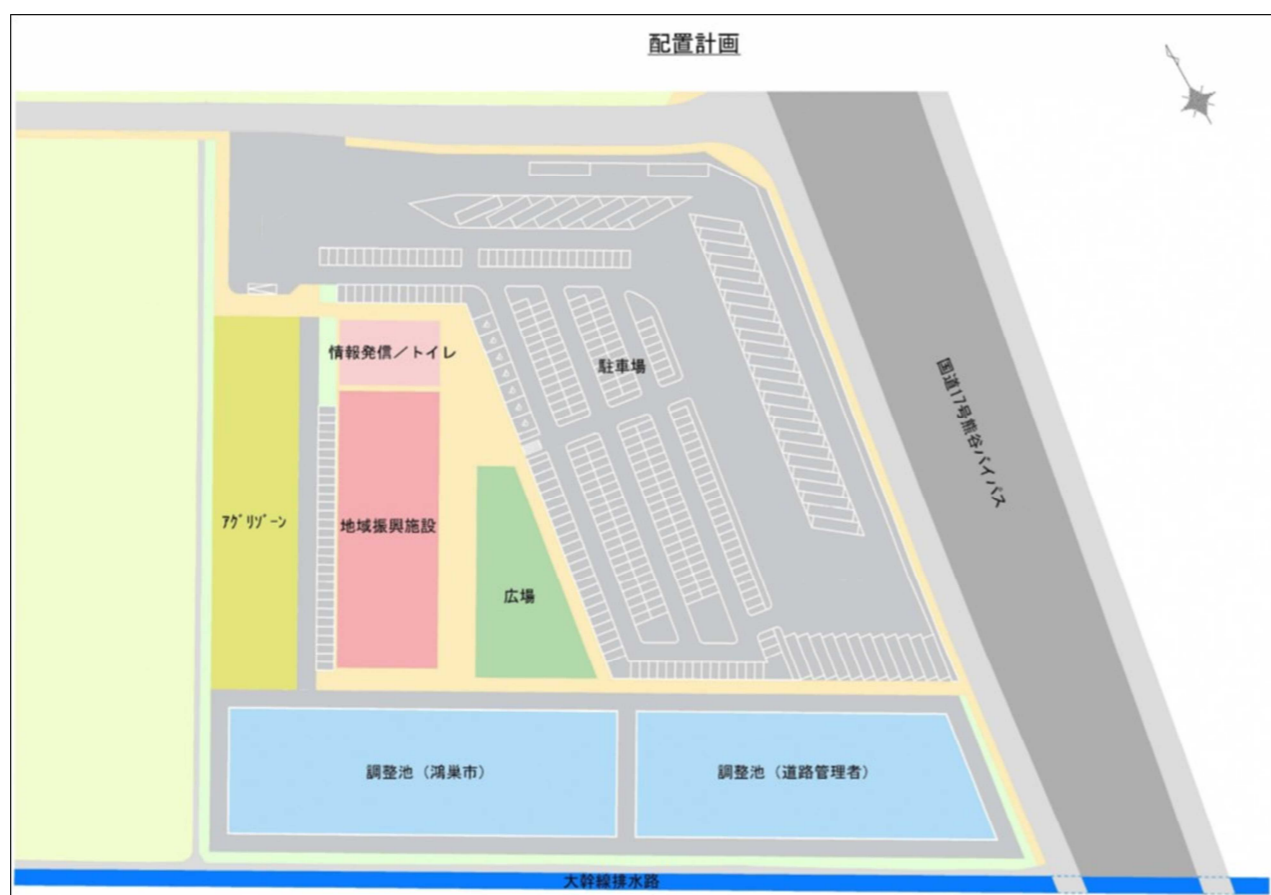
4. 施設配置計画

4.1 土地利用ゾーニング・動線の考え方

- 地域振興施設等ゾーンは、駐車場等交通ゾーンや周辺の土地利用（既存農地や道路）との関係性に配慮し、利用者動線がわかりやすい配置とする。
- 地域振興施設等ゾーン内のトイレ・情報発信施設・地域振興施設等は、利用者にとってわかりやすいことや、施設間の円滑な移動による高い利便性を確保することを目的として一体的な配置とする。
- 駐車場等交通ゾーンは、国道17号熊谷バイパスに隣接する敷地北東側に配置する。
- 調整池ゾーンは、必要容量を確保した上で、敷地南側に配置する。



4.2 配置計画



4.3 建築基本計画

- 道路管理者である大宮国道事務所と鴻巣市が整備する「一体型」の道の駅であることを踏まえ、施設管理の役割分担を明確にするため、情報発信・休憩施設（国道事務所管理）と地域振興施設（鴻巣市管理）とは別棟とする。
- 販売施設内は広い空間が形成されることから、買い物客が楽しさや賑わいが感じられる空間デザインを検討する。
- 基本的には平屋建ての建物を想定するが、防災倉庫等日常的な利用を想定しない施設を配置する場合は、部分的に2階建てとして配置することも検討する。

4.4 基盤整備計画

(1) 造成計画

- 計画地の現況土地利用は農地（水田）で、東側の国道17号とは平均地盤高で約1.0mの高低差がある。また、計画地は湛水想定区域に含まれているため、雨天時に浸水しないよう配慮する。

(2) 雨水排水計画

- 計画地は、市街化調整区域で下水道事業計画区域に含まれていないため、下水道管（雨水）が整備されておらず、現況の雨水排水は農地（水田）の排水路を利用して大幹線排水路に流下している。道の駅整備に伴い、「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」に基づき、調整池を設けて、宅地内の雨水を一時的に貯留し、放流量を調整しながら大幹線排水路に流下する計画とする。

(3) 調整池計画

- 本計画地は埼玉県の湛水想定区域内に位置するため、「雨水流出抑制条例」に基づき、調整池の必要対策量は、「雨水流出増加行為による必要対策量」と「湛水想定区域内の土地に盛土をする行為に対する必要対策量」を合算した規模を確保する。
- 調整池による雨水流出抑制必要対策量を算定し、道路管理者と市がそれぞれ必要な調整池容量を確保する。

(4) 緑化計画

- 広大な駐車場による無機質な空間となることを避け、道の駅利用者に「ゆとり」と「うるおい」を提供するものとして、道の駅の緑化を行う。
- 緑化面積については、埼玉県の「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」に基づく必要面積を確保するものとする。

5. 概算事業費

- 本事業の概算事業費（市整備分）は、25～30億円を想定している（用地取得費を除く）。
- 事業費を圧縮するため、設計時におけるコストダウンの検討や各種補助金の活用を図るなど、市の財政負担の軽減に努めるものとする。

6. 事業スケジュール

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
計画	管理運営計画策定														
	整備計画策定														
用地取得	農地関連手続き														
	用地取得														
調査・設計	土木設計														
	建築設計														
工事	造成工事														
	建築工事														
	外構（駐車場・調整池）工事														
	アクセス道路工事														

※今後の詳細設計や関係機関協議で変更になる可能性がある。